株式会社 フジヤマ リファイン

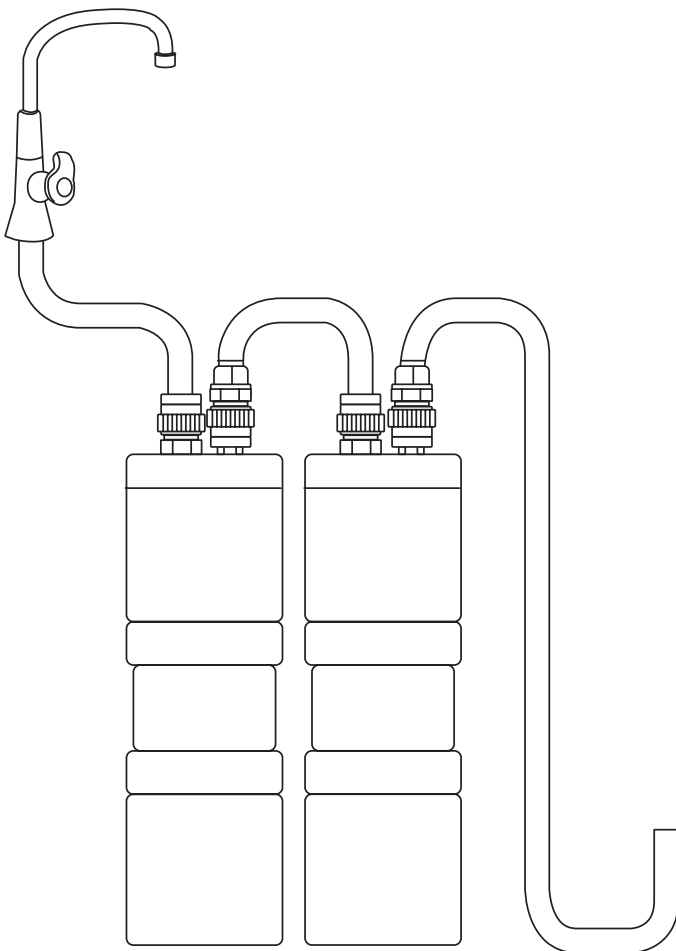
軟水器

品番 PL140

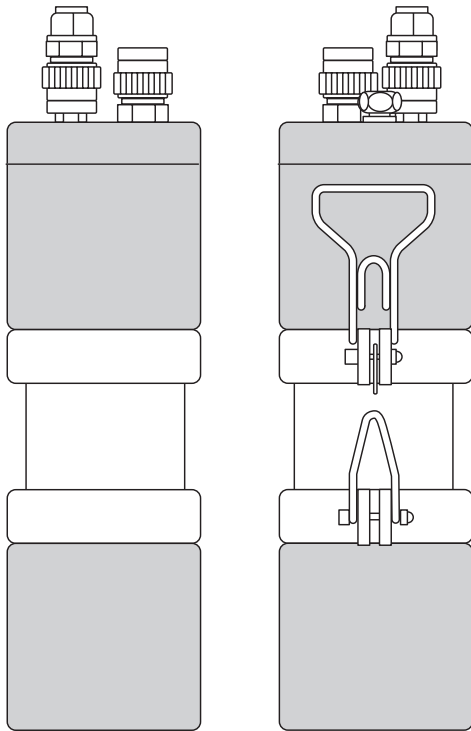
取扱説明書

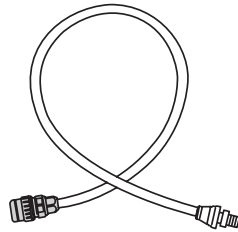
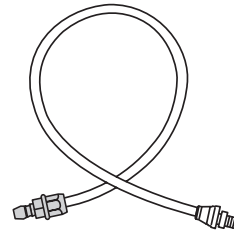
この度は弊社軟水器（台所用、洗面用）をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

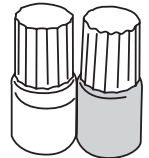
●取り扱い説明を良くお読みいただき末永くご愛用ください。

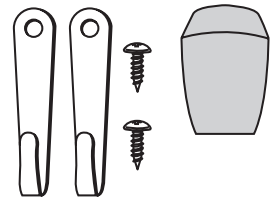
●尚、お届け時の梱包具は破棄することなく面倒でも保存してください。使用済みの本体を返送する際お使いください。

目　次

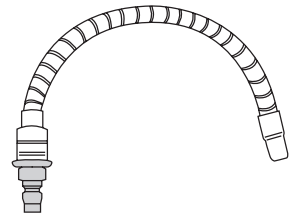
同封物・付属品・各部名称

設置の前に部品等の欠品や不良がないか確認ください。
欠品・不良がある場合は弊社までご連絡ください。（TEL 03−5983−3388）

前面　後面

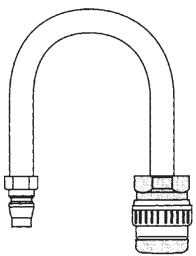
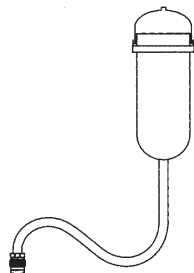
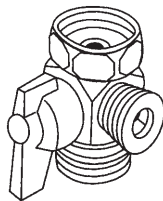
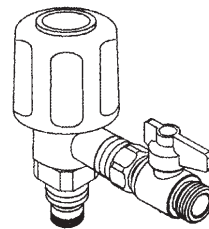
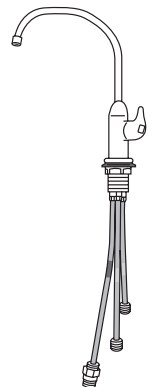
PL-140 本体…… 1

給水ホースA　給水ホースＢ

給水ホースセット…… 1

試薬セット…… 1

滑り止めベース…… 1

フックセット…… 1

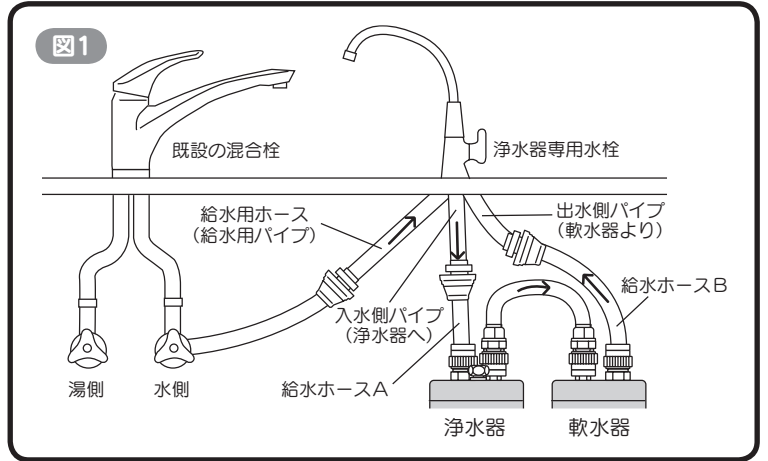
ジョイントホース
（浄水器と軟水器の両方を取りつける場合に使用します）

専用水栓パイプ（卓上用）… 1
（シンクの上に取り付ける場合に使用します）

オプション

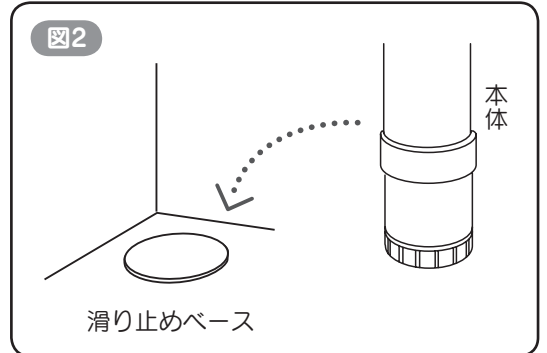
設置に合わせて必要なものがございますので確認ください。

ジョイントホース長尺

再生セット

ボール切替弁

分水用水栓上部

浄水器用水栓

本体をシンクの下に取付ける場合

図1 の様に浄水器専用水栓が設置されている場合は付属品のみで取り付けできます。ついていない場合は、工事が必要となりますのでお近くの、建設会社又は、水道工事店、弊社販売店へお問い合わせください。

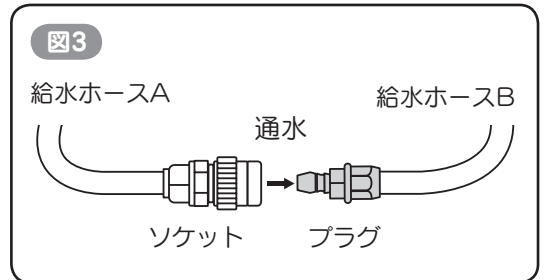
- すでに浄水器等が設置されている場合は一度取り外すか、既設器具の給水ホースを利用して設置してください。

1 本体の設置する

シンクの下の設置する場所へ滑り止めベースを敷き本体をその上に載せます。

- シンクの扉が開閉ができるか確認ください。
- 活性炭本体（浄水器）を使用する場合は２本のスペースが必要です。
- 本体は必ず立ててご使用ください。（図2）

2 浄水器専用水栓に給水用ホースを接続する

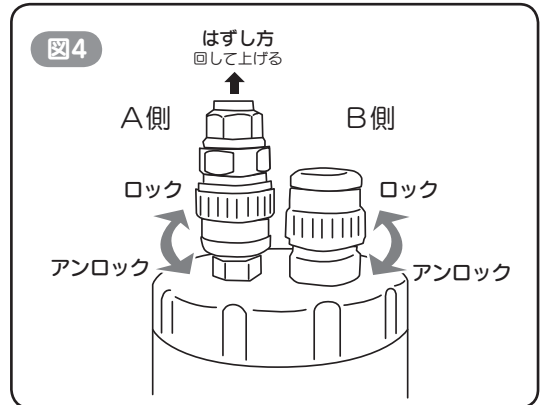
入水側の水栓金具に給水ホースAを接続してください。
出水側の水栓金具に給水ホースBを接続してください。

浄水器専用水栓金具に２本のホースが付きましたら（図3）の様に２本のホースを接続し、通水してホース内のエア抜きをして下さい。（数秒間）エア抜きが終わったら、ボール等を受け皿にして、ソケットとプラグを外します。

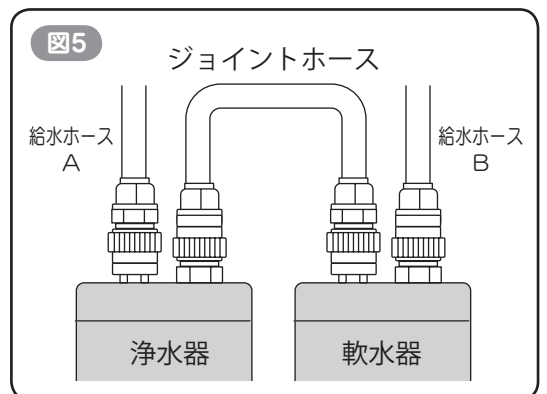
- ソケット側からは水がでませんが、プラグ側からホース内の残水が少しでます。

3 給水ホースと本体と繋ぐ

本体上部の黄色のソケット（図4）を外します。

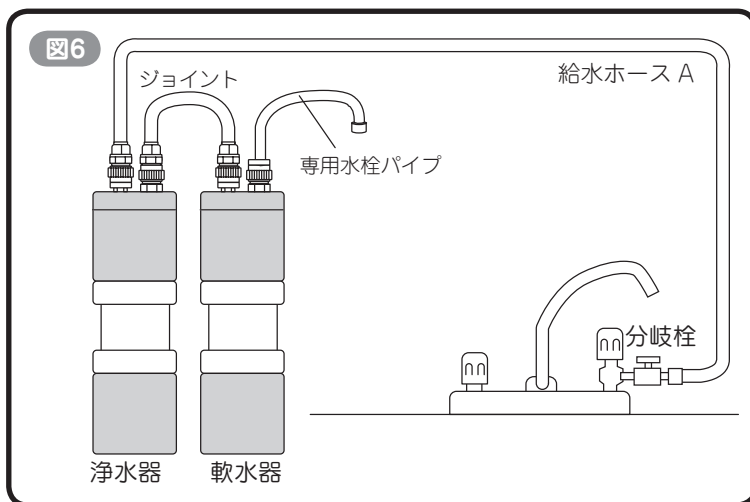
- ソケットは UNLOCK 位置にして、黄色い部分を上にあげると外れます。

そこへ給水ホースAの黄色いソケットを「カチッ」と音がするまで押し込みます。同様に給水ホースBのプラグを本体の白いソケットに上から下へ押し込みます。

4 活性炭本体（浄水器）と軟水器を取り付ける場合

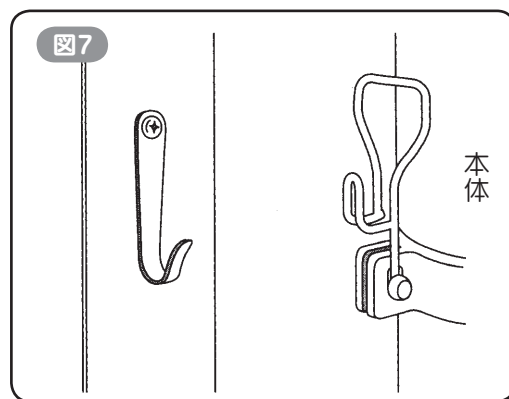
２本取り付ける場合は（図5）ジョイントホースを使って接続します。

❶活性炭本体の黄色いソケットをはずし、専用水栓金具からの給水ホースAを接続します。
❷活性炭本体の白いソケットにジョイントホースのプラグを差し込みます。
❸交換樹脂本体（軟水器）の黄色いソケットをはずし、ジョイントホースのソケットを差し込み、給水ホースBを軟水器本体上部の白いソケットに差込みます。

本体をシンクの上に設置、取付ける場合

本体をシンクの上に設置する場合は浄水器専用の分岐栓（オプション）をつける必要があります。

- 浄水器専用の分岐栓はオプションのボール切替弁、分水用水栓上部をご利用下さい。

1 本体を設置する

本体が倒れない様に安定する位置に設置して下さい。
壁に取付ける場合はフック（図7）を取り付け、そのフックに本体を掛ける事が出来ます。

- 本体は必ず立ててご使用下さい。

2 浄水器専用の分岐栓を取り付ける

水栓金具に浄水器専用の分岐栓（オプション）をお取り付け下さい。

- ご自身で取り付けができない場合は、お近くの、建設会社又は、水道工事店、弊社販売店へ問い合せの上、取り付けを依頼ください。

3 分岐栓に給水ホースを取り付ける

分岐栓の分岐側に給水ホースAを取り付けます。
給水ホースAの黄色いソケットに「専用水栓パイプ」のプラグを取り付けて通水し、ホース内のエア抜きをします。
エア抜きが終わったら、「専用水栓パイプ」を給水ホースAのソケットからはずします。

- 通水の際に「専用水栓パイプ」から水が出ますので水ぬれ等にご注意ください。

4 給水ホースと本体を繋ぐ

本体上部の黄色のソケット（図4）を外します。

- ソケットは UNLOCK 位置にして、黄色い部分を上にあげると外れます。

そこへ給水ホースAの黄色いソケットを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

5 本体に専用水栓パイプを繋ぐ

本体上部の白いソケットに「専用水栓パイプ」のプラグを上から下に押し込みます。

6 活性炭本体（浄水器）と軟水器を取り付ける場合

２本取り付ける場合は（図5）ジョイントホースを使って接続します。
❶活性炭本体（浄水器）の黄色いソケットをはずし、専用水栓金具からの給水ホースAを接続します。
❷活性炭本体の白いソケットにジョイントホースのプラグを差し込みます。
❸交換樹脂本体（軟水器）の黄色いソケットをはずし、ジョイントホースのソケットを差し込み、「専用水栓パイプ」を軟水器本体上部の白いソケットに差込みます。

ご使用方法

1 新規取り付け時及び交換時にはイオン交換樹脂（輸送中の破損）の破損片や着色した水が出る場合があります。又、長期間ご使用にならなかった場合も着色した水が出る事があります。無味、無臭、無害ではありますが約２リットル程、流してご使用下さい。

2 流量は毎分５リットル以下で取水して下さい。処理能力は約 1400 リットル（原水の硬度 50ppm の場合）です。地域の硬度により使用量が変ります。又、流量を多くしたい場合は軟水器本体を 2 本接続してお使い下さい。

3 本来イオン交換樹脂本体（軟水器）を単体でご使用頂けますがカルキ臭が強かったり、濁り水が出るようであれば活性炭本体（浄水器）をプラスしてご使用ください。その場合は必ず先に活性炭本体（浄水器）を通した後、イオン交換樹脂本体（軟水器）を接続してご使用下さい。

4 井戸水を通水する場合は保健所にて定期的に水質検査を行ってください。この器具は滅菌された上水を通水するよう設計されています。
水質検査の結果、飲料に適の判定が出ても地下水は刻一刻変化しています。飲料用には加熱処理したものが安心です。

5 既に浄水器（活性炭 , フィルター等の濾過器）をご使用の場合はその浄水器の後に軟水器を接続してご使用下さい。

6 蛇口を閉めても軟水器からの水がしばらく止まらない場合があります。これは水道水の中の少量の空気が軟水器上部（浄水器）に溜まった場合に起こる現象です。この場合は本体を逆さにして良く振り、通水します。水と一緒に空気が出ます。元に戻して終了です。
浄水器、軟水器の 2 本を使用している場合は浄水器のみの操作で OK です。

7 お湯を通水する場合は浄水器、軟水器共に 40℃以下の温度でご使用ください。40℃以上の温度で使用すると活性炭が水の臭いや汚れを吸着しなくなります。

注意事項

1）小さなお子様だけで軟水器を使用させないで下さい。石鹸の泡で遊んだり、石鹸水が目にしみたりのトラブルのもとです。

2）食器のすすぎ洗いなどの際、とても滑り易いのでご注意ください。超軟水そのものが滑るわけではないのですが洗剤成分、石鹸分が少しでもあると良く滑ります。

3）リファインウオーターは大変高価な水です。流水で洗うのではなく面倒でもボールや器に水を溜めて洗われる事をお勧め致します。

使用済み軟水器の処理方法

使用済みの軟水器はゴミとして処分せずに面倒でも弊社へお戻し下さる様お願い致します。送料は弊社が負担致します。「ご返送頂きました軟水器は消耗品及び除去剤の交換，清掃，修理を施し、リサイクル商品として廉価にて販売させて頂きます」
まず､軟水器上部の給水ホースソケット及び取水ホース（専用水栓パイプ）プラグを外します。
次に本体に取り付けてある黄色のソケットをカチッと音がするまで押し込み、お届け時の梱包具に入れ、指定運送業者にお渡しください。浴室用、洗面用も同様です。
尚、イオン交換樹脂は食塩で再生をすることができます。ご自宅で再生をなさる場合はご一報下さい.
再生説明書および再生セット（有料）を御送り致します。

リファイン・クラブへの入会のお勧め

弊社ではリサイクルを積極的に勧めるためにリファインクラブを発足させました。
弊社の製品をお買い上げ頂きましたお客様はどなたでも入会できます。
入会費、年会費無料です。
是非ご入会、ご登録をお勧めいたします。
又、超軟水の使い方、アイデア等をお寄せ頂き、採用させて頂きました会員様には謝礼を用意しております。
ご入会、ご登録の手続きは簡単です。ご返送伝票の入会欄に○印をご記入下さい。

会員様特典

1．弊社製品（リサイクル品）を会員価格でお求め頂けます。
2．知人、友人をご紹介頂きました場合は会員及び紹介された方双方にすてきなプレゼントを用意しております。
3．超軟水を使ったアイデア集を差し上げます。
4．ご返送頂きました器具の交換樹脂、除去剤、フイルター等に異常が見られる場合はご連絡をさせて頂きます。尚､製品の管理については細心の注意と検査を行なっております。常に最良の状態でご使用頂けますよう努めてまいります。

お客様窓口

弊社製品についてご要望、ご意見がございましたら下記、お客様係までお聞かせ頂ければ幸いです。

株式会社　フジヤマリファイン　お客様係
TEL　東京03－5983－3388
FAX　03－3952－2114